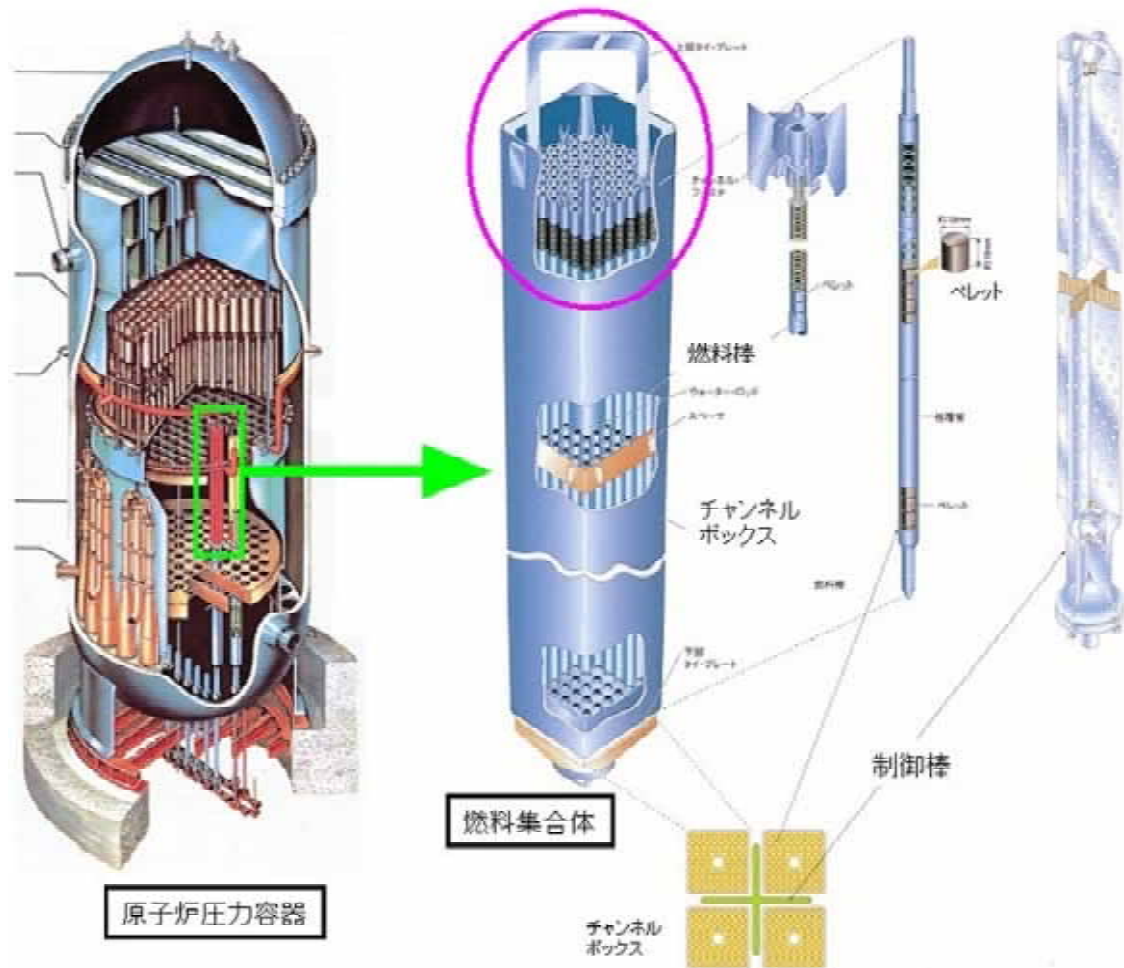


ウランペレットは「被覆管」と呼ばれる長さ 4 m、直径 10mm の金属の管でジルカロイというジルコニウム合金で出来た鞘状の棒で、その中にウランペレットが 370 個ほど詰められる、これが燃料集合体ですが、通常は「燃料棒」と呼んでます。

燃料棒も熱に強く 1800 度位でやっと溶けます。

このウランペレットを詰めた燃料棒が約 60 本を 1 束としたモノが、原子炉の中には 548 個入ります。



### 原子炉格納容器

燃料集合体は判りやすく「燃料棒」と呼ばれています。この燃料棒の集合体が、压力容器内で大量の水の中に入れられ、燃料棒が核反応によって生ずる熱で、この水を沸騰させ蒸気を発するのです。

この原子炉格納容器は、フラスコのような形で、高さが約 34m 11 階建てのビルくらいあり、この中に特殊な合金で出来た压力容器があって、その中に燃料棒が納められています。そしてその外側が厚いコンクリートで出来た建屋になりますが、第一原発事故の水素爆発では、簡単に吹っ飛び破壊されましたから、凄まじい水素爆発でした。

この爆発の瞬間を衛星の映像で監視していたアメリカ政府では、即座に水蒸気爆発だと判断して、駐日米大使館を通じて在日アメリカ人 80km 圏内は即避難を命じました。

それを聞いた他の大使館では、自国民で在東北は勿論、東京、関東地方の住人までも避難、国外退去の勧告を出して大騒ぎになりました。

水蒸気爆発は格納容器内での爆発ですから、内部の放射能は全て飛び散り、チリノブイ